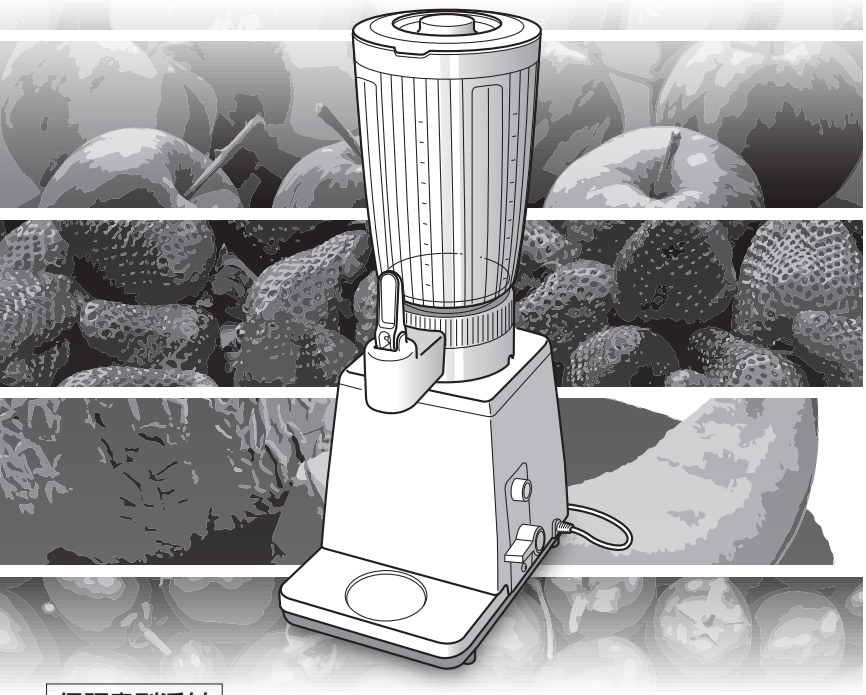


取扱説明書
業務用ミキサー

品番 **MX-153G** (ガラスコップタイプ)
MX-153P (プラスチックコップタイプ)



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●ご使用前に「安全上のご注意」(2～4ページ)を必ずお読みください。

●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

仕様

		MX-153G (ガラスコップタイプ)	MX-153P (プラスチックコップタイプ)
電源		交流 100 V 50 - 60 Hz	
消費電力		295 W	
定格時間		連続 (4 分間運転、2 分間停止の繰り返し)	
回転数		9700 回／分 (1800 mL 水負荷時)	
定格容量		1800 mL	
コード長さ (約)		1.9 m	
大きさ (約)	幅	18.8 cm	
	奥行	26.2 cm	
	高さ	51.2 cm	
質 量 (約)		5.0 kg	4.0 kg

MX-152SP 他従来機種とコップ、コップ台の共用はできません。

必ず、MX-153G/MX-153P 用を使用してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

禁止記号 してはいけない内容です。
禁止記号 実行しなければならない内容です。

警告

電源プラグやコード

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100 V 以外での使用はしない
(たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因)
- コードや電源プラグを破損するようなことはしない
傷つける、加工する、高温部に近づく、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる、挟み込むなど
(感電やショートによる発火、火災の原因)
➡修理は販売店にご相談ください。
- コードが傷んだり、コンセントの差し込みが緩い時は使用しない
(感電やショートによる発火、火災の原因)
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない
(感電の原因)
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
(発煙や発火、感電、発熱による火災の原因)
- 電源プラグのほこりなどは定期的にとる
(ほこりなどがたまり、湿気などで絶縁不良となり火災の原因)
➡電源プラグを抜き、乾いた布でふく

消耗品・別売品

メーカー希望小売価格は2021年10月現在			
部品名		部品番号	メーカー希望小売価格 (税込)
	コップ台バックシン	AMX05B-430	330 円
	コックバックシン (1 個入)	AVE40-172	110 円

別売品

部品名		部品番号	メーカー希望小売価格 (税込)
	保護ゴム ●コップの縁に取り付けると、お手入れ時の損傷を防ぎます。	AVE39-172-H0	2,090 円
	コップ (ガラス)	AVE01-294-X0	8,800 円
	コップ (プラスチック)	AVE01-295-X0	6,600 円
	ふたユニット (ふた・内ふた)	AVE98-212-W0	1,320 円

その他の部品や希望小売価格は、QRコードからご確認いただけます。
パナソニック製品取扱店で求めください



●QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

警告

事故を避けるために

- 子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児に触れさせたりしない
(感電やけがの原因)
- 本体を水につけたり、水をかけたりしない
(感電やショートによる発火の原因)
- 自分で絶対に分解や修理、改造をしない
(火災、感電やけがの原因)
➡修理 (消耗品の交換は除く) は販売店にご相談ください。
- 運転中にふた、内ふたを開けて、コップの中に、指・スプーン・はしなど調理材料以外や禁止材料を入れない
(けがの原因)
- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く
(発煙や発火、感電やけがの原因)
＜異常・故障例＞
 - 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
 - コードに傷が付いたり、通電したりしなかったりする
 - 本体が変形したり、異常に熱くなったりする
 - 使用中に異常な回転音がする
 - コップにひび割れなどができた➡すぐに販売店に点検・修理を依頼してください。

注意

けがを防ぐために

- 60℃以上の熱い材料をコップに入れない
 - 必ず常温に冷ましてから入れる
(吹きこぼれによるやけどや、コップ割れによるけがの原因)
- 傷がつくような使い方をしない
 - 市販の氷などかたい材料を入れない
 - 金属製のスプーンやへらなどを使わない
(コップ割れによるけがの原因)

故障かな？

QRコードから、詳しいサポート
情報をご覧ください。



お問い合わせや修理をされる前にご確認ください。

症 状	原 因 と 処 置
スイッチを入れても動作しない	●電源プラグが抜けている ➡電源プラグを差し込む
	●本体にコップ台を載せて、コップを取り付けている ➡平らな台の上で、コップを取り付ける (P. 9)
	●材料が引っ掛かっている ➡必ずスイッチを切り、コップ台を本体から外して、材料をすべて取り出して入れ直す (P.10)
使用中に運転が止まる	●モーター保護装置が働いている <ul style="list-style-type: none">●禁止材料を入れている●材料が多すぎる●材料がかたい (市販の氷など)●異常音や振動が大きい ➡「モーターの保護装置が働いて運転が止まったときは」に従って直す (P.11) 禁止材料を入れている場合は禁止材料を取り除く (P.15)
	●コップの締め付けが緩んでいる ➡コップをコップ台に確実に取り付ける (P.9)
調理物が漏れる	●コップ台バックシン・シールバックシン・コックバックシン (2 か所) がずれていたり、付け忘れたりしている ➡各バックシンを取り付ける コップ台バックシン (P.9) シールバックシン (P.12、13) コックバックシン (P.12、14)
	●コック栓 A・コック栓 B が緩んでいる ➡コック栓 A・コック栓 B を確実に締める (P.12)
	●主軸受けのネジ (3 か所) の締め付けが緩んでいる ➡ネジを確実に締める (P.14)

注意

けがを防ぐために

- 運転中にコップ、ふた、内ふたの取り付け・取り外しはしない
 - 途中で材料を加える場合は、必ずスイッチを切る
 - ふただけでもちあげない
- 不安定な所で使わない
 - 布、ビニール、紙、おぼんなどの上で使わない
- 運転中に移動させない
- カッターは鋭利なため、直接手を触れない
- 安全スイッチを細い棒などで押さない
 - 押した状態でスイッチを入れるとコネクタ下が回転します
(けがの原因)
- 部品の取り付け・取り外しやお手入れは、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く
 - カッターの回転が止まってから、コップ台を本体から外す
- スイッチ「切」を確かめてから、電源プラグを抜き差しする
(けがの原因)



電源プラグやコード

- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持つ
(感電やショートによる発火の原因)
- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
(絶縁劣化による感電や漏電火災の原因)

保証とアフターサービス よくお読みください

使い方・お手入れ・修理 などは

■まず、お買い求め先へ
ご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	() -
電 話	() -
お買い上げ日	年 月 日
●製品名	業務用ミキサー
●品 番	MX-153G/153P
●故障の状況	できるだけ具体的に

修理を依頼されるときは

「故障かな？」(P.6) でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **6年**

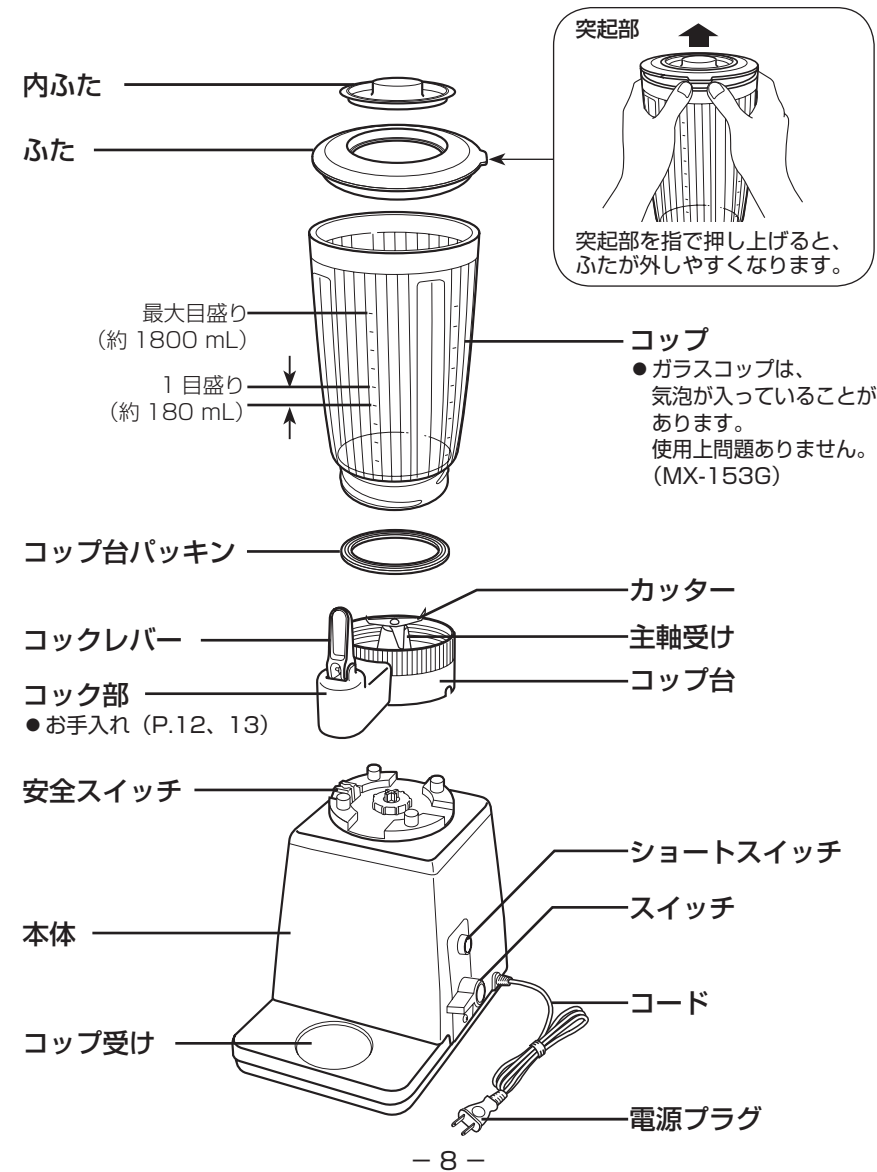
当社は、この業務用ミキサーの補修用性能部品 (製品の機能を維持するための部品) を、製造打ち切り後6年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

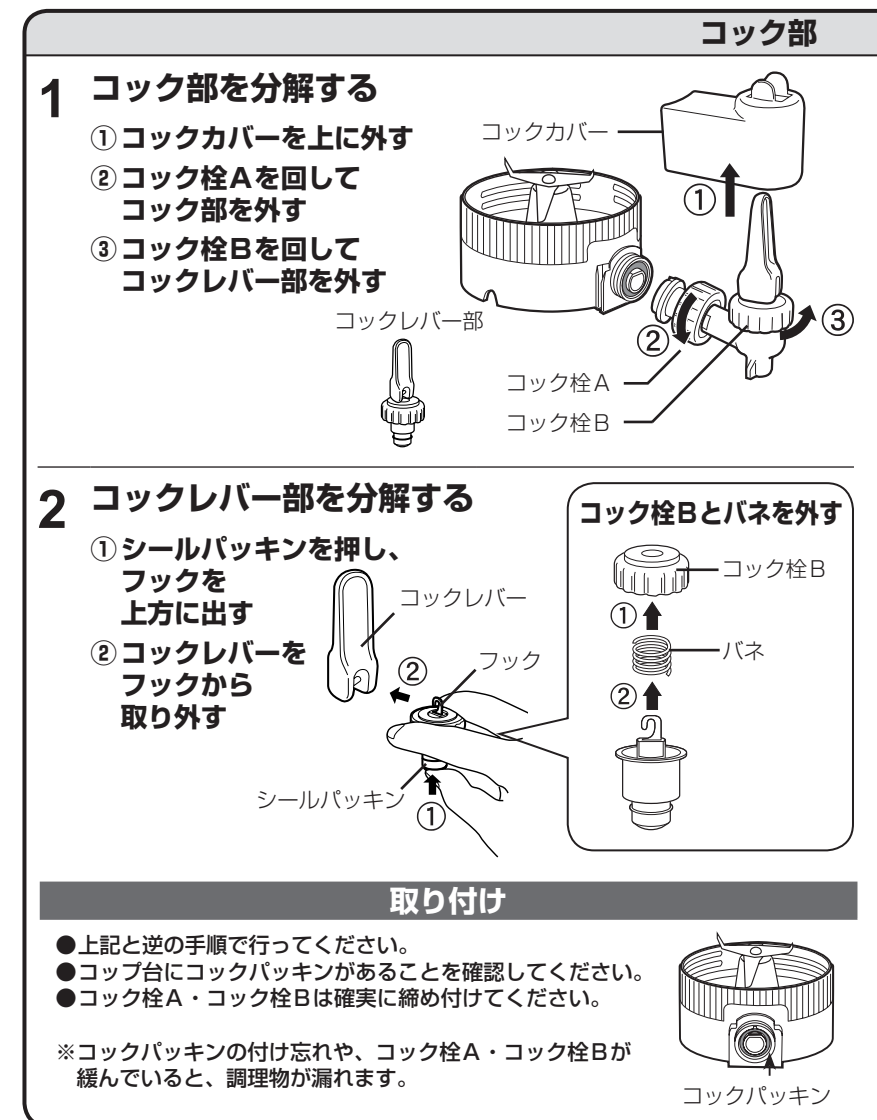
各部の名前と扱い方

ご使用の前に「お手入れ」に従って各部品を洗ってください。

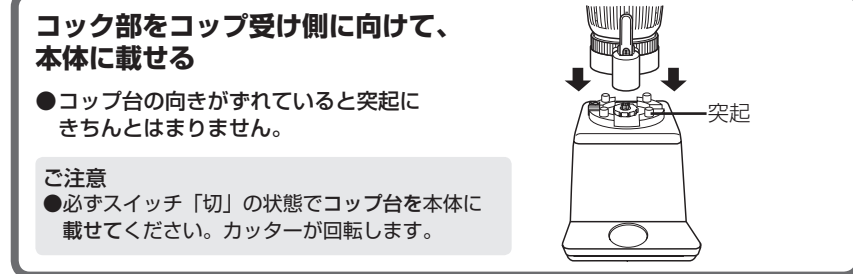


お手入れ

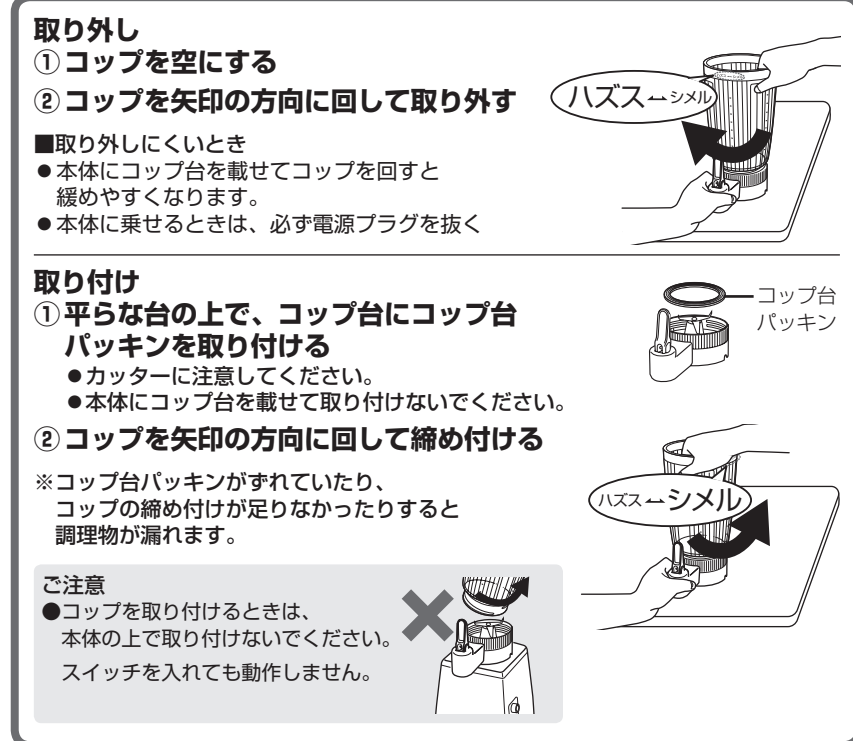
必ず電源プラグを抜いてから行ってください。



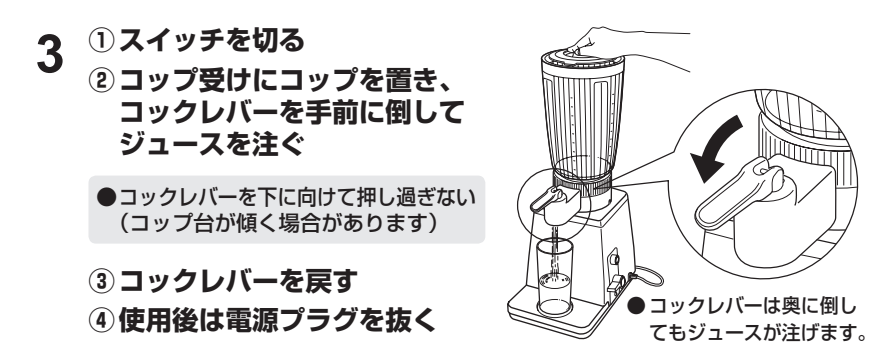
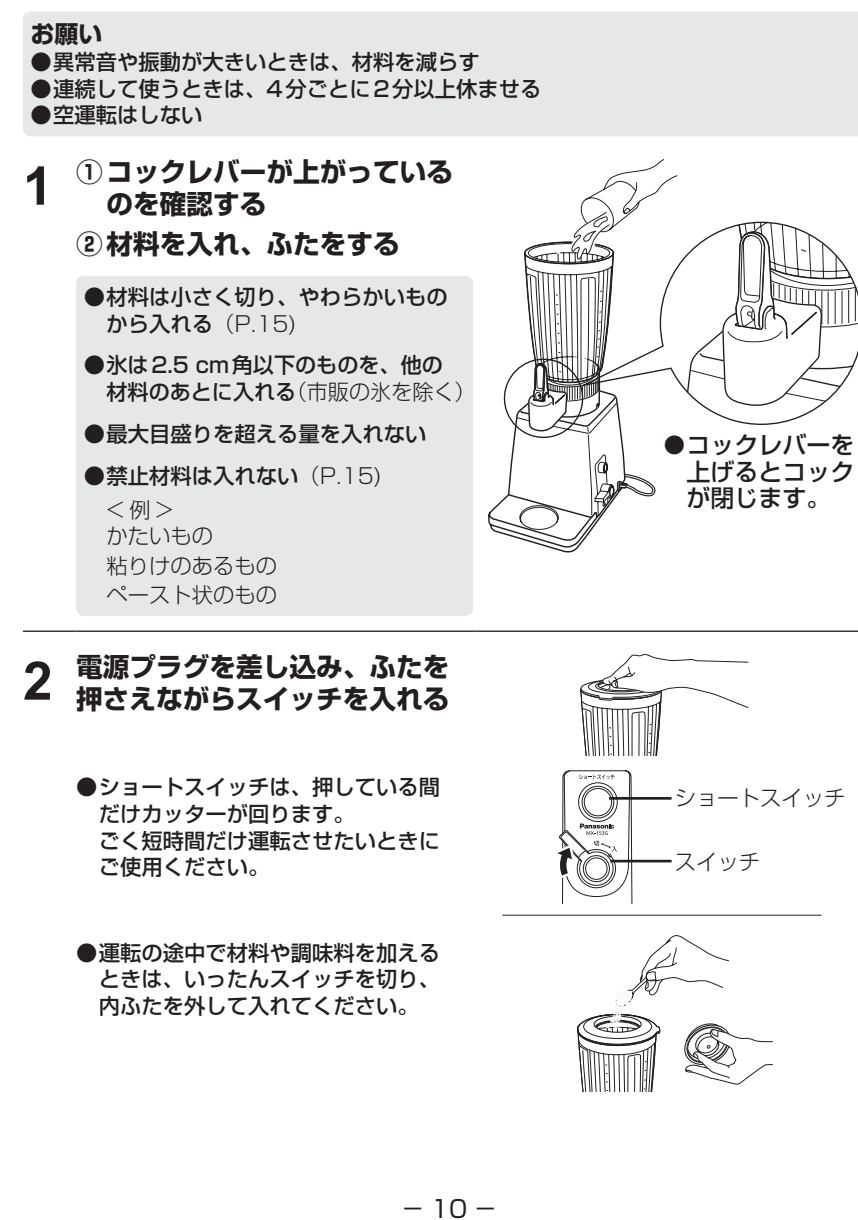
●コップ台の取り付け



●コップの取り外し・取り付け

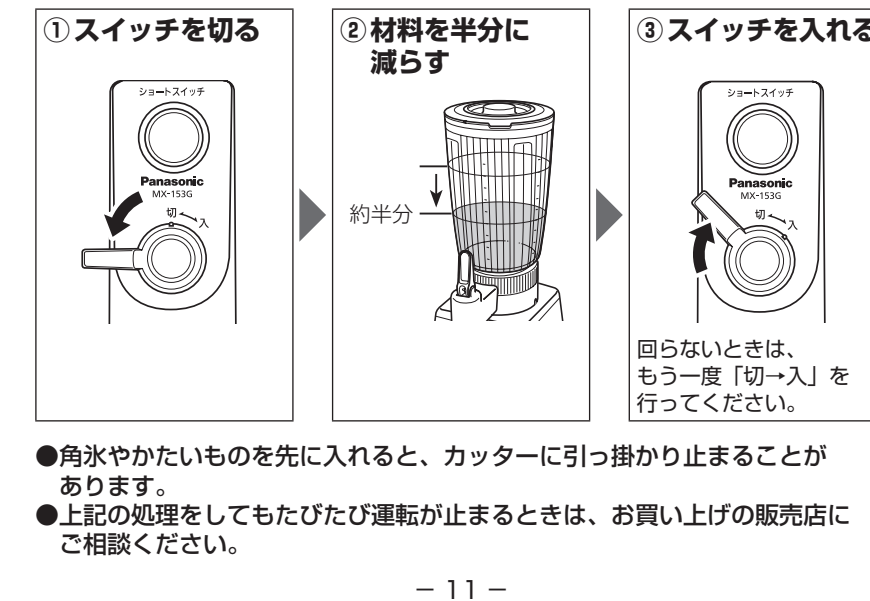


使い方



モーターの保護装置が働いて運転が止まったときは

モーターに負担がかかると、保護装置が働き運転が止まりますが、故障ではありません。止まったままの状態から、次のようにして直してください。 ●そのまま繰り返し運転しないでください。(発煙や異臭、故障の原因)



ジュース作りのポイント

